

令和元年度事業報告

新元号をむかえ、景気が緩やかに回復基調となるなか、昨年12月に中国湖北省武漢市を発生源とした新型コロナウイルスの地球規模での感染拡大により、にわかに景気回復に不透明感が漂い、経済への悪影響が長引くことが懸念されています。

当センターでは、時代の変化に的確に対応し将来を見据えた事業を展開していくため、中期的な指針となる「第2次中期計画」を策定し、1年が経過しました。

事業実績は、請負・派遣事業を合わせた総合実績で3年連続の増額となり、最重要課題として取り組んだ会員の増強については、159名の入会と119名の退会により851名の組織となりました。

以下、令和元年度において積極的に推進した事業についての概要を報告致します。

I 法人の状況に関する重要な事項

1. シルバー人材センター事業（公益目的事業）

(1) 安全・適正就業の推進

安全対策基本計画を基に、安全で適正な就業の推進に係る指導、対策、意識啓発、健康管理等に努めましたが、就業途上でバイクの転倒による傷害事故が1件、草刈機による損害賠償事故が1件発生し、事故ゼロ（草刈機による石跳ね事故の撲滅）の目標を達成することができませんでした。

- ①巡回パトロールを強化し、草刈機を使用する就業現場を中心に声掛け運動を展開しました。
- ②安全教育を推進するための講習会(草刈機・事故者)を開催しました。尚、70歳以上の交通安全講習は、新型コロナウイルスの影響で中止となり、令和2年度に開催することとなりました。
- ③適正就業のガイドライン研修会の開催及び受注内容の総点検を実施し、就業形態の適正化に努めました。
- ④意識啓発活動の推進のため、安全だよりの発行(事故事例の周知等)、安全冊子（安全・適正就業のために）の配布、安全スローガンの募集等を行いました。
- ⑤健康状況の申告(問診形式)により会員の健康管理に努めると共に健康診断の受診を奨励しました。

(2) 就業開拓活動の推進

高齢会員の就業可能な分野の開拓や新規会員の希望職に応じた就業開拓、地域の実状に応じた就業機会の確保及び新たな職域の創出に積極的に取り組みましたが、受注件数は、4,175件で前年度に比べ10件の減となりました。

- ①就業開拓推進員を配置し、事務系職種、家事援助、育児支援等女性会員の職種の拡大や人手不足分野（中小企業や介護職分野）を中心に開拓活動を実施しました。
- ②役職員を中心に事業所や個人宅の訪問活動を実施しました。
- ③あなん健康まつり等イベントでのリーフレットの配布や新聞折込みを実施し、個人・家庭からの受注の拡大を図りました。

(3) 普及啓発活動の推進

シルバー人材センター事業への理解と協力を更に広めていくためのPR活動を積極的に推進しました。また、事業の情報を常に会員と共有することにより、事業への参加意識の向上を図りました。

- ①広報誌等（広報あなん、商工会議所会報）への事業PR記事の掲載を行うと共に普及啓発促進月間（10月）を設定し、公民館、ハローワーク等公共施設にポケットティッシュ、チラシを配布しセンターの普及に努めました。
- ②見やすく、親しみのあるホームページづくりに努めました。
- ③理事会での決定事項、各委員会の活動状況、安全・適正就業に関すること等を詳細に伝えるため、会報や各種会合の資料の充実を図りました。

(4) 組織の強化

会員による自主的な組織運営を更に推進していくため、剪定等技能職に携わる会員による就業開拓、ボランティアやクラブ等の会員活動を積極的に推進しました。

また、会員の増強と共に退会防止に努めた結果、会員数が4年ぶりに増となりました。

- ①公共施設での剪定及び除草、介護事業所での清掃及び行事の手伝い等ボランティア活動を実施すると共に新規入会者の災害ボランティアへの登録を促進しました。
- ②夫婦、80歳以上の会費の割引に続き10月より新規会員の会費減額を開始し、会員の拡大に努めました。
- ③高齢会員への就業提供を積極的に推進する等退会防止に努めました。

(5) 労働者派遣事業の推進

適正就業の観点から請負に馴染まない受注を派遣に切替えるための訪問活動や新規契約獲得のためのPR活動を積極的に行いました。

また、ハローワークとの連携を強化し、受注の拡大に係る情報の収集に努めた結果、前年度と比較して受注件数は、35件で5件の減、就業延人員は、5,210人で205人日の増となりました。

(6) 有料職業紹介事業の推進

職業紹介担当者会議に参加する等統括管理を行う連合会と連携しながら事業の周知及び推進に努めました。

(7) その他

- ①県連合会事業への参加
公益社団法人徳島県シルバー人材センター連合会が行う各種事業に積極的に参加しました。

②全シ協・四シ協事業への参加

公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会、四国ブロックシルバー人材センター協議会が行う各種事業に積極的に参加しました。

2. 法人管理

(1) 諸会議の開催

センターの維持運営及び事業運営の執行に関して必要な会議（定時総会1回、理事会4回）を開催しました。

(2) センター事務局機能の充実

日常業務の円滑かつ効率的な事務執行のため、連合会の研修会に参加し必要な知識能力を付与するなど事務局機能の充実に努めました。

(3) 役職員研修会の実施

①四国ブロック主催の役職員研修会に参加し、シルバー人材センター事業の現状と課題等について研修しました。

②個人情報の保護に関する法律の改正等について、役職員研修会を開催しました。

II 業務の適正を確保するための体制の整備に関する事項

(1) 理事及び職員の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制の運用状況

①改正個人情報保護法に関する研修会を開催し、理事及び職員に周知徹底を図った。

②理事会は、法令・定款及び理事会運営規則等に従い、重要事項を決定するとともに、理事の職務の執行を監督した。

(2) 理事の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する事項

理事の職務執行は、法令及び定款等に基づいて行われ、その職務執行に係る情報は、法令等に基づき理事会議事録に記録し、その記録の保存・管理は、法令等に基づき適切に保存及び管理できている。

(3) 業務の適正を確保するための体制の運用状況の概要

内部の統制については、重要な不備がないことを確認した。

— 令和元年度事業報告の附属明細書 —

令和元年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和2年6月

公益社団法人阿南市シルバー人材センター